議案第37号

墨田区名誉区民選定の同意について

上記の議案を提出する。

令和6年9月9日

提出者 墨田区長 山 本 亨

墨田区名誉区民選定の同意について

墨田区名誉区民条例（平成2年墨田区条例第18号）第3条第1項の規定により、
下記の者を墨田区名誉区民に選定したいので、その同意を求める。

記

住 所 東京都墨田区

氏 名 五街道 雲助（本名：若林 恒夫）

生年月日 昭和23年3月2日

（提案理由）

上記の者を墨田区名誉区民に選定する必要がある。

(参考)

五街道 雲助 (本名：若林 恒夫)

住 所 東京都墨田区

生年月日 昭和23年3月2日

略 歴 昭和23年 東京都墨田区本所に生まれる。幼少より母親と寄席に通い、
演芸に親しみ育つ。

昭和43年 十代目金原亭馬生に入門し、金原亭駒七の名で前座修行を
始める。

昭和47年 師匠の指導のもと話芸の研鑽^{さん}に努め、二つ目に昇進し、五
街道雲助と改名する。

昭和56年 真打に昇進する。師匠亡き後は、口演速記本等から三遊亭
圓朝の大作を復活させるなど、独自の芸を創り上げ、東京の
落語界を牽引^{けん}する本格派の演者の一人として活躍する。

平成23年 「雲助月極十番」を全10回の企画として開始する (同2
4年まで)。

平成25年 「らくご街道 雲助五拾三次」を開始する (同30年ま
で)。

令和 5年 国の重要無形文化財保持者 (人間国宝) に認定される。

令和 6年 すみだトリフォニーホールにおいて「すみだが生んだ人間
国宝 五街道雲助 落語会」を開催する。

表 彰 歴 平成22年 平成21年度 (第64回) 文化庁芸術祭優秀賞受賞

平成26年 平成25年度 (第64回) 芸術選奨文部科学大臣賞受賞

平成28年 紫綬褒章受章

令和 5年 重要無形文化財保持者 (人間国宝) 認定

氏は、墨田区生まれの落語家であり、独自の芸を創り上げ、東京の落語界を牽引^{けん}する本格派の演者の一人として現在も活躍している。渋く低い美声で江戸弁を操り、巧

みに登場人物を描きわけ、喜怒哀楽といった情を語る氏の芸は高い評価を受けている。

江戸の古典落語を高度に体現し、長年の研鑽さんに基づく卓越した技量を数多くの高座で示すとともに、落語界の第一人者として後進の指導・育成にも尽力されている姿は、広く区民が敬愛し、誇りとするところである。